

しぜんとなかよし

新園舎！5感を引き出す環境作り

(僕たちの未来の為に出来る事！持続可能（**SDGs**）な環境作りを目指して！)



認定こども園福島愛隣幼稚

園

ビオトープの水に触れ

内容)

2019年新園舎建築にあたり造成中地中から丸石がたくさん出てきた。丸石を使い園内にビオトープを作るが流れてくる川の汚染状況から、きれいな川を守る為に自分たちで出来る事を考え始めた。その後水林森林公園を森の案内人から案内してもらい荒川の話聞き、地域の方々の知恵と努力で守られている川と知った。



秋 収穫の秋です。
ビオトープ横の畑から大きな
さつまいもが顔を出しました。
今年は豊作です！



土がたくさん付いたさつまいもを
ビオトープの中に「じゃぼーん！！」
さつまいもの泥を落とします。
「あらいグマみたいだ〜。」と
メダカもびっくり！！
ビオトープの水は井戸水。
冷たくないね。



水道の蛇口から出る水も
ビオトープと同じ井戸水。
秋風が少しずつ冷たくなる季節で
したがビオトープの水は温かい！
子ども達から「お湯がでてい
る？」と勘違いするほど！

落ち葉に触れて



県営あづま総合運動公園内の樹木からたくさんの葉が落ち、その落ち葉でプールを作って下さいました。葉の匂いを感じながら遊んだ葉も、小さく細くなり、また土に戻され、肥料になったり荒川の伏流水の濾過の役目を果たすと知りました。

雪に触れて

冬・吾妻小富士に雪が降りました。



子ども 「お山に降った雪はどうなるの？」
保育教諭 「暖かくなると、雪は解けて水になって川になるよ！！」
子ども 「それじゃ、荒川になるんだね。」

これはすごい！！子ども達から（荒川）と自然に言葉が出るようになりました。

自分たちで出来る事から！



散歩の時は、ビニール袋を持ちます。
虫や花を持ち帰る時もありますが自主的に
ゴミを拾うようになりました。



用水路を覗く習慣も付きました。
「ビオトープをきれいに・・・。
水をきれいに・・・。」とゴミを拾いま
す。木の枝や葉、ビニールゴミ、お菓子の
袋等がたくさんありました。
散歩の度に大きなゴミ袋一杯になります。

私たちの水



2年目の春を迎え、ビオトープらしくなりました。



緑の藻も増えてはいます。



メダカも元気です。

今は、ビオトープにきれいな井戸水が豊かに流れています。子どもには安心して遊べる環境になりましたが、いずれはこのビオトープにもトンボや蛙等の生き物が生息しやすくプランクトンが豊富な「生き物が生息出来るきれいな荒川の水」を引けたらと考えてます。その為に、園だけでなく子ども達が保護者の皆さんに家庭環境の中で「食べ残しを少なく・ゴミを少なく・水を大切に」等伝え生活排水の見直しをするきっかけになりました。今後、季節が変わりSDGsに取り組んで来た1年の成果や新たな課題が出てきます。園内にあるビオトープから子ども達と学んだ事は、**限りある水資源を大切に使い、できるだけ汚さない事が持続可能な一番の取り組みであることを学びました。**